

「平成 28年 4～6 月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－ 業況、今回も横ばい －

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

- 調査時期 平成 28年 6月 1日～8日
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業 546社
- 回収状況 回収数 539社（回収率 98.7%）
- 調査方法 調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 平成 28年 4～6 月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－14.2であった。平成 28年 3月の前回調査（－12.2）と比べて－2.0 ㊦と今回も横ばい圏内であった。消費税引き上げ後に調査した平成 26年 6月以降は小幅の動きが続く。

② 平成 28年 7～9 月期の見通し

次期の業況 DI は 1.4 ㊦悪化の－15.6を見込む。

③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	今期	次期見通し	
二輪車部品製造	46	-28.0	-24.5	-24.5	業況DI改善も主要項目は悪化、熊本の地震、海外の景気減速、受注減少などが不安材料。
自動車部品製造	69	-33.8	-36.2	-21.7	業況DIは悪化、業況DIの水準は製造業の中で最低。熊本の震災やスズキの燃費の問題が不安材料。
機械部品製造	53	-7.7	-3.8	-11.3	業況DI小幅改善、消費税以後は概ね横ばい傾向。
楽器部品製造	18	5.6	-11.1	-27.8	業況DI、7四半期ぶりのマイナス水準、受注良好のコメントなくなる。
繊維製造	25	-20.0	-8.0	-24.0	業況DI改善、浴衣や祭りなどの季節ものの生産が良好な様子。
卸売業	64	-18.8	-21.9	-26.6	業況DIわずかながらも再び悪化。
小売業	53	-11.1	-24.5	-35.8	業況DI、卸売と同じく再び悪化。収益DIもマイナス水準へ。
建設業	64	1.6	-12.5	-7.8	業況DI悪化、3四半期ぶりにマイナス水準へ。近年、6月は季節要因により悪化傾向、次期は改善見通し。
不動産業	41	22.0	9.8	-2.4	業況DI悪化も2四半期連続のプラス水準。在庫DIはマイナス水準、商品土地は不足しているとのコメント。
飲食・宿泊・レジャー等	12	-30.0	-8.3	-8.3	業況DI改善。大河ドラマへの期待も含めて宿泊業で明るいコメント多い。

本件のお問い合わせ先

特非) 静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510
 〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所会館 5 階